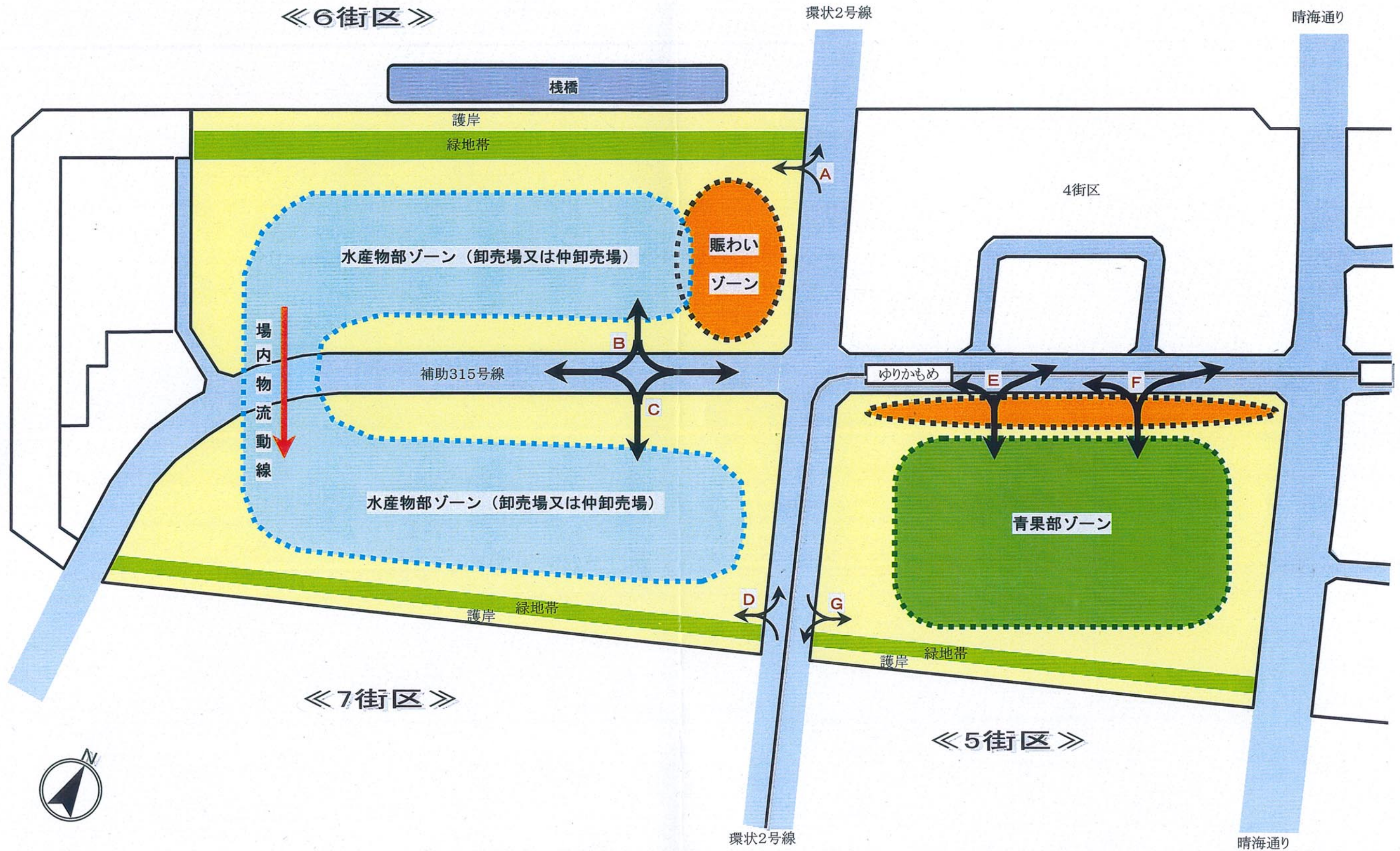


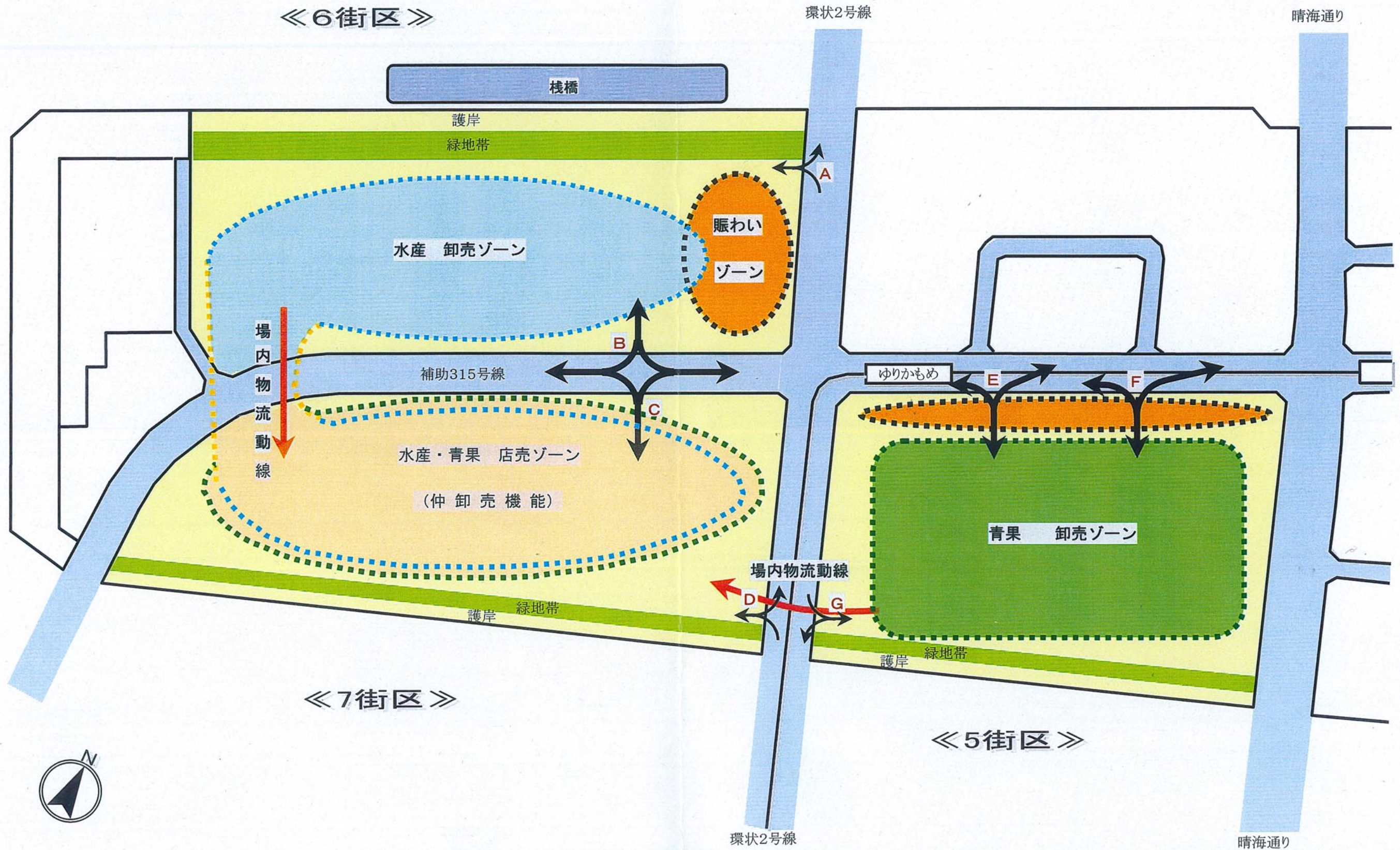
新市場のつくり方（部門構成の考え方）

	5 街区	6 街区	7 街区	構成案の特徴、問題点等
A 案 (取扱品目別部門 構成案)	青 果 部	水 産 物 部		取扱品目に基づく市場づくり <ul style="list-style-type: none"> 取引・物流が青果、水産単位で完結するため、動線を明確化し、買出車輛を分散できる。 青果と水産が環状2号線を挟んで向き合う市場となり総合市場としての一体性を確保する工夫が必要
B 案 (ワンストップ・ ショッピング機能 重視案)	青果卸部門	水産卸部門	水産・青果の仲 卸部門 (店売り対応 部門)	仲卸の店売り部門を1カ所に集中 <ul style="list-style-type: none"> 買出人の利便性の向上と仲卸売場の賑わいを創出 仲卸の店頭売りと卸売場からの直接搬出を分けることで、それぞれに適した物流システムの採用が可能 5・6街区の卸売場から7街区の仲卸売場へ横持ちが必要 7街区に水産・青果の買出車輛が集中するため、駐車場の確保、円滑な入退場処理の検討が必要
C 案 (流通補完機能の 分離案)	集散機能等の 流通補完部門	青果卸・仲卸部 門	水産卸・仲卸部 門	市場の本体部門と転・配送、加工等の流通補完部門とを分離 <ul style="list-style-type: none"> 卸・仲卸等市場の本体部門とそれ以外の流通補完等の部門を分離して、各機能の合理化を図る。 青果と水産の一体性は6・7街区で保たれるが、水産の卸・仲卸の全扱量を7街区で処理するには工夫が必要 水産の混載トラックは、通過物等を下ろす5街区と卸売場のある6・7街区に立ち寄る物流となる。
D 案 (ワンストップ・ ショッピング機能 重視及び流通補完 機能の分離案)	集散機能等の 流通補完部門	水産・青果 仲卸部門	水産・青果 卸部門	市場の本体部門と転・配送、加工等の流通補完部門とを分離し、本体部門では水産・青果の仲卸の店売り部門を集約(B・C折衷案) <ul style="list-style-type: none"> 買出人の利便性の向上と仲卸売場の賑わいを創出 仲卸の店頭売りと卸売場からの直接搬出を分けることで、それぞれに適した物流システムの採用が可能 6街区に水産・青果の買出車輛が集中するため、駐車場の確保、円滑な入退場処理の検討が必要 卸売場から仲卸売場への荷の移動の際、水産・青果の位置関係次第では、一方に物流上の不利が生じる可能性がある。

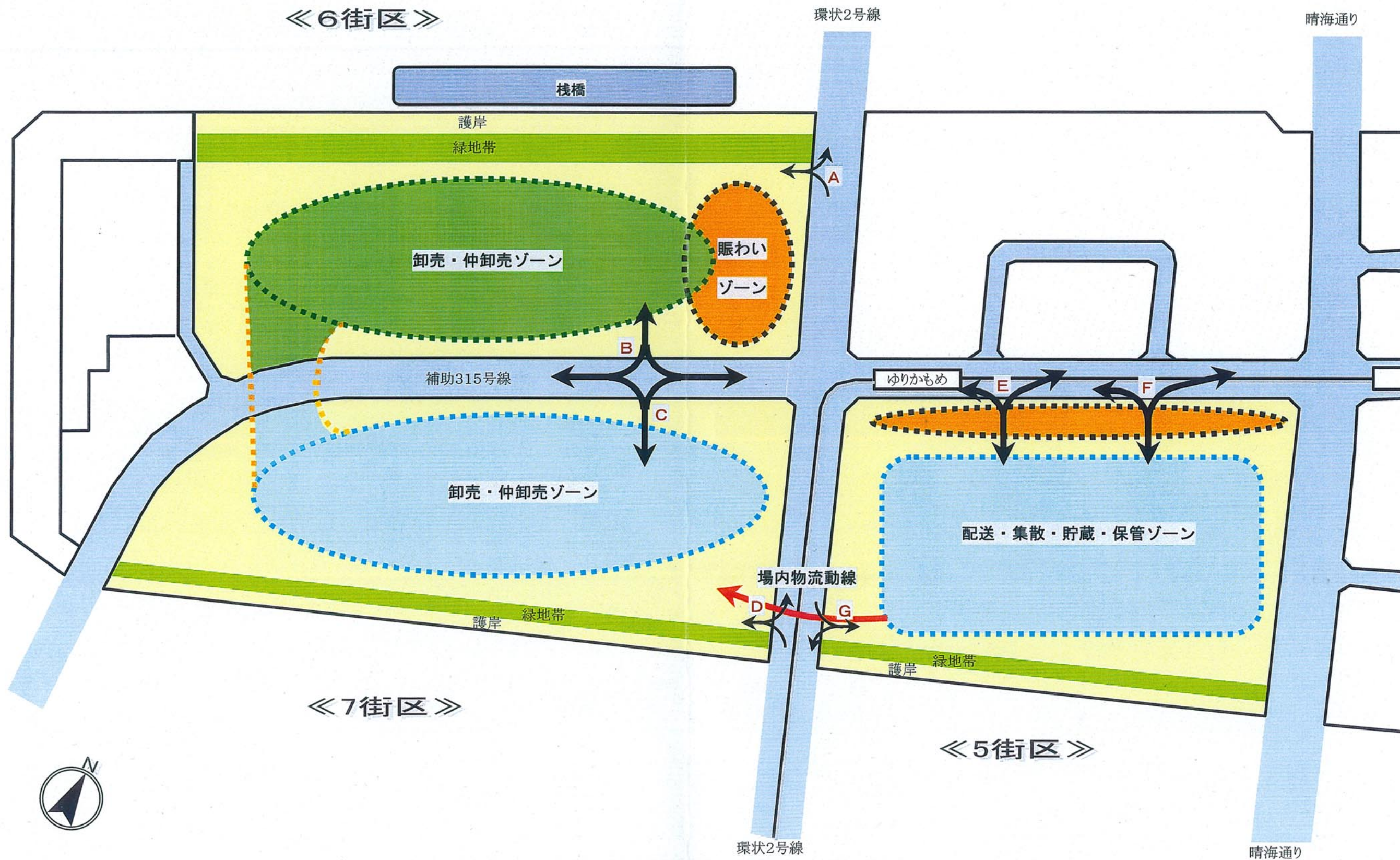
A案（取扱品目別部門構成案）



B案 (ワンストップ・ショッピング機能重視案)



C案（流通補完機能の分離案）



D案

